



おおぞら

ぎかい

大空町議会だより 第9号
2008(平成20)年8月29日発行

8

2008



● 女満別空港滑走路北東側フェンス横一帯に陽射しを浴びて一面に広がる満開のひまわりと離陸直前の航空機

定例会の議案と質疑 P2～4

町政を問う(一般質問2名)..... P5～8

臨時会の議案と質疑 P9～10

議会・委員会活動レポート ... P11～12

要望意見書 P13

編集後記 P13

議会日誌 P14

有料広告(たまや菓子店) P14

● 定例会の議案と質疑 ●

●平成20年第2回大空町議会定例会は、6月17日から18日までの2日間の会期で開かれ、以下の町提出案件・議員提出案件などが決まりました。



岡内祐一 氏



田中勝吉 議員



近藤哲雄 議員

物品・数量	女満別中学校 教育用パーソナルコンピュータ39台、プリンタ9台、プロジェクター1台及び関連機器・システム等一式
業者名	㈲ヤマニ・カシハラ 代表取締役 山本 秀明 (女満別西4条2丁目)
購入金額	8,073,030円

【物品の購入】

一般案件

本年7月19日任期満了の女満別・東藻琴両地区農業委員会委員について、農業委員会等に関する法律(昭和26年法律88号)に基づき、大空町議会が推薦する農業委員を3人とし、第2回定例会において近藤哲雄議員、田中勝吉議員及び大空町女満別農民協議会執行委員長の内岡祐一氏の推薦を可決しました。任期は、平成20年7月20日から平成23年7月19日までの3年間です。

農業委員会委員の推薦

大空町が出資する公益法人等の平成19年度経営状況報告を了承

女満別・東藻琴両中学校の 教育用パソコンの購入を可決

森田議員 両中学校の生徒が使用していた全てのパソコンを更新する計画なのか、まだ使用できるパソコンは引き続き活用することで考えているのか伺う。
学校管理課長 女満別中学校は平成13年度購入、東藻琴中学校は平成12年度購入で両校とも古

質疑

物品・数量	東藻琴中学校 教育用パーソナルコンピュータ32台、プリンタ7台、プロジェクター1台及び関連機器・システム等一式
業者名	文具のナカヤマ 代表 中山 正 (東藻琴312番地)
購入金額	6,924,540円

【物品の購入】

【過疎地域自立促進市町村計画の一部変更】
本郷地区地域水田農業再編緊急整備事業(事業主体・北海道)、町道本郷住吉線改良舗装事業(事業主体・北海道)、東

条例等案件

学校管理課長 各学校担当との検討委員会にて今後の生徒数の推移を踏まえた上での購入計画であるのでご理解願いたい。

森田議員 両中学校における将来の生徒数の推移を十分に検討した上での購入計画台数であるのかどうか伺う。
学校管理課長 各学校担当との検討委員会にて今後の生徒数の推移を踏まえた上での購入計画であるのでご理解願いたい。

い機種のため今回全て更新する計画としている。まだ使用できるパソコンについては、各小学校等での活用の検討をお願いしている。



議会議員として25年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与・貢献された功績により、平田一行議員が北海道町村議会議長会から表彰を受け、第2回定例会(6月17日)の開会前に後藤議長より表彰状が伝達されました。

表彰

藻琴地区麦乾燥調製貯蔵施設整備事業（事業主体：JAオホーツク網走）などの事業を新たに追加することに伴う計画の一部変更を可決しました。



（東藻琴地区麦乾燥調製貯蔵施設）

質疑

小島議員 当該施設の整備に伴うCO₂排出量は、どの程度考えられているのか伺う。

農政課長 当該施設のCO₂排出量の計算までは把握に至っていない。
小島議員 この種の施設のCO₂排出量は今後検討していかなければならぬ時代であると考えているので、今後分かり次第提示願いたい。

農政課長 JA側では現在、実施計画の策定を進めているので、今後CO₂排出量の削減につなげるような取組みができるのかどうか確認することとしたい。

職員定数条例の一部改正
定員適正化計画に基づき合併時に定めた職員数（全体190人・町長部局145人）と本年4月1日現在の職員数（全体163人・町長部局123人）との間に乖離が生じていることなどに伴う同条例の一部改正を可決しました。

【国民健康保険税条例の一部改正】
後期高齢者医療制度（長寿医療制度）の創設に伴い、75歳に到達する者が国民健康保険から後期高齢者医療制度へ移行することによって単身世帯になる場合は、平等割（世帯割）で賦課される国民健康保険税を5年間半額とすることなど、関連法律の改正に伴う同条例の一部改正を可決しました。

【重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正】
北海道医療給付事業補助要綱の一部改正により、医療費の助成対象者として新たに重度の精神障がい者を追加したことなどに伴う同条例の一部改正を可決しました。

【乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正】
少子化対策の一層の推進を図るため、本年4月からの医療保険制度の改正を踏まえ、北海道医療給付事業補助要綱の一部改正により、乳幼児医療費の助成対象年齢の拡大（小学生未満↓小学校6年生まで）などの見直しに伴う同条例の一部改正を可決しました。



【監査委員条例の一部改正】
地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）に基づき、前年度決算の健全化判断比率等（①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率）について、監査委員の審査に付すことが規定されたことに伴う同条例の一部改正を可決しました。

予算案件

【平成20年度一般会計補正予算（第3号）】
歳入歳出予算にそれぞれ1,582万円を追加し、総額が72億3,075万円となりました。

▼歳入の主なものとして、障害者自立支援医療費負担金 188万円
道民税徴収取扱交付金 582万円
一般寄付金121万円
財政調整基金繰入金 313万円
アンテナショップ物産販売手数料245万円
▼歳出の主なものとして、議員報酬及び期末手当

等 Δ236万円
町税賦課徴収費 1,492万円
障害者自立支援事業 288万円
農畜産物販路拡大調査事業 413万円
網走地区消防組合大空消防署費負担金 896万円
女満別幼稚園管理費 456万円
青少年育成事業協会補助金 Δ132万円
B&G海洋センター指定管理委託料 106万円
職員給与費 Δ2,090万円

質疑

小島議員 青少年育成事業協会補助金の減額補正等は、職員派遣に関する要因ということだが、止むを得ない事情等を除いては専任職員を雇用され、人件費等を補助金で措置すれば良いのではないかと考えている。今後の職員派遣のあり方についてどのように考えているのか伺う。

松田議員 今後、総合型地域スポーツクラブなどの設立を検討している

町長 現在、色々なところに職員を派遣して状況にあるが過渡期として捉えている。基本的に今後は、専任職員で対応いただくことを前提に考えているのでご理解願いたい。

松田議員 今回のB&G海洋センター関連の増額補正は、同センターの指定管理に対する考え方や課題等が浮き彫りになったと理解しているが、今後の教訓としてどのようにいかしていく考えなのか伺う。
教育長 4月から指定管理をスタートさせてきた中で、当初把握できなかった施設の修理や課題等が出てきたが、事前に十分な対応ができなかった面について反省している。指定管理者である育成事業協会の関係者と常に協議の場を設け、早め早めの対応・体制を整えたいと考えているのでご理解願いたい。

く中で、今回の課題等を教訓にしてスムーズな運営に心がけ進めてほしい。

教育長 本町も総合型

地域スポーツクラブを立ち上げることができないか検討を進めている。今後とも子供たちが安全にスポーツ活動に親しめるような環境整備等に十分気を付けて取組んでいきたいと考えているのでご理解願いたい。



【平成20年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）】
歳入歳出予算にそれぞれ55万円を追加し、総額が6億6,435万円となりました。

報告案件

【勉女満別青少年育成事業協会の経営状況報告】
平成19年度の勉女満別

青少年育成事業協会（会長 如澤健治、女満別西3条4丁目）の経営状況等に関する報告を了承しました。

【勉めまんべつ産業開発公社の経営状況報告】
平成19年度の勉めまんべつ産業開発公社（理事長 高橋正幸、女満別昭和96番地）の経営状況等に関する報告を了承しました。

【大空町土地開発公社の経営状況報告】
平成19年度の大空町土地開発公社（理事長 濱名敏之、女満別西3条4丁目）の経営状況等に関する報告を了承しました。

【榊藻山温泉管理公社の経営状況報告】
平成19年度の榊藻山温泉管理公社（代表取締役 八重樫光司、東藻琴末広393番地）の経営状況等に関する報告を了承しました。

【例月出納検査報告】
佐々木代表監査委員から、平成20年3月～6月までの一般会計及び特別会計の例月出納検査に関する報告を了承しました。

その他議会活動の状況等

【平成20年女満別消防団消防演習】
東藻琴消防団消防演習

5月25日、女満別グートボールセンター駐車場において、女満別消防団消防演習、6月29日、緑とチーズの里ふれあいパークイベント広場において、東藻琴消防団消防演習がそれぞれ行われ、小隊訓練、模擬火災訓練などの様子を見学しました。



【第29回札幌地区女満別会・第37回旭川東藻琴会】

6月6日、札幌市及び札幌近郊在住の旧女満別町出身や旧町に縁のある方々による札幌地区女満別会（平野義雄会長、7日には、旭川市及び旭川近郊在住の旧東藻琴村出身や旧村に縁のある方々による旭川東藻琴会（浜本弘之会長）がそれぞれ開催され、本町議会を代表して後藤議長・厚海副議長が参加しました。

【第36回交通安全・第58回社会を明るくする運動大会】

7月10日、メルヘン公園多目的屋内広場において、交通安全・社会を明るくする運動大会が開催され、町内の各学校・団体等から多くの方々が参加し、交通事故撲滅と犯罪のない住み良いまちづくりを誓いました。



【議会行政視察来町対応】

7月14日、戸戸町議会総務常任委員会（石井伸二委員長ほか9名）が、女満別・東藻琴両地区を結ぶスクールバスの運行等に関する行政視察のために来町され、本町の取組み状況等について熱心に質問されました。

【東藻琴地区殉公者慰霊祭及び女満別地区戦没者追悼平和祈念祭】

7月5日、東藻琴慰霊塔斎場において、東藻琴地区殉公者慰霊祭、8月15日、女満別英霊墓場において、女満別地区戦没者追悼平和祈念祭がそれぞれ行われ、遺族並びに関係者が出席し、先の大戦において亡くなられた方々に対し、世界平和と郷土の発展を誓いました。



【藻山夏山開き安全祈願祭】

6月8日、恒例の安全祈願祭が藻山6合目にて行われ、夏の観光・登山シーズンを迎え登山者の安全を願いました。

【斜網ブロック議長・副議長会議】

6月9日、斜網ブロックの市・町議会の議長・副議長会議が本町にて開催され、各市町議会などが抱える課題等について意見交換を行いました。



【議会行政視察来町対応】

7月15日、友好都市の熊本県氷川町議会（笠原良一議長ほか11名）及び浜田氷川町長一行が、本町の農業政策の取組みや合併後の議会運営に関する行政視察のために来町され、本町の状況等について熱心に質問されました。また今回、町内の主な公共施設等を視察見学いただいたほか、ひがしもとと乳酪館前広場にて来町記念の植樹をいただきました。



● 町政を問う (一般質問2名) ●

●第2回大空町議会定例会では、2名の議員から3項目の質問がありました。各議員の質問と理事者の答弁要旨をお知らせします。※紙面の都合上、質疑は要約していただきますので、詳細等は、両地区図書館に備え付けの「会議録」をご覧ください。

教育行政について

坂本 一 光 議員



学級数の減少による教師の現状は

議員 児童・生徒の減少に伴う学級数の減少の結果、町内各学校の教師の定数減などの現状はどのようなになっているのか。女満別小学校では2学級が減っている状況の中で、教師の数との関係について伺う。

教育委員会委員長 少子化の波は、大空町にも押し寄せてきており、各学校において新入学児童も減少傾向にある。女満別小学校においては、1学年と3学年で初めて一学級となり、学級数の減

少に伴い教員数も2名の減となったものである。

教育長 児童数が減少し、女満別小学校では、今年300名を切ったという状況であり、法律に基づいて先生方の数が2名減らされた。こうした中で、女満別町時代から補助教諭を2名配置しており、配置された先生方が担任を支援している。

必要な教育ができる環境整備を

議員 1学級になったことで、果たして従来どおりで足りるのか。中学校になると、資格を持たない先生がほかの教科を担当しなければならぬことも考えられるが、教育というのは、そのとき必要な教育が十分できる環境を整えることが行政としての重要な役割だと

考えるので、見直すことも必要ではないのか。

教育長 補助教諭の配置は、管内として1番早い取組であった。現在幼稚園にも補助教諭、中学校に時間講師を配置した体制の中で進めていることをご理解いただきたい。専門教科の免許のない人が教えるという実態があるが、免許外教科担任の解消について、さらに北海道教育委員会や文部科学省に要望を強めていきたい。



高校生に対する通学費助成のあり方は

議員 町内には町立と道立の2つの高等学校があるが、通学費助成のあり方について、今後どのように取り計らっていく考えなのか。

教育委員会委員長 高校生に対する通学費等助成については、合併時の調整内容や附帯意見に基づいて、保護者負担の一部軽減となるよう対応している。

教育長 東藻琴地区から網走東学区の高校に通学する高校生については、合併協議の中で公共交通機関の整備を条件として、3年以内の廃止を見込んでいたが、未整備であるため当初の助成額で取り組むこととなっている。女満別高等学校には、通学費とは別に高等学校教育振興協議会に300万円を助成しているが、通学関係については、生徒数の確保と保護者の負担軽減の方策について検討

することとしたい。

議員 高校生への通学費助成のあり方として、合併して3年目を迎え、両地域がある程度理解できる整理の仕方を考えてほしい。

教育長 女満別高等学校に通う生徒も負担にならないような形にできないか検討していきたいと考えている。

奨学金の運用状況と返還免除策の検討を

議員 今、経済的にかなり疲弊しており、困窮しているところもあるが、就学に関する奨学金の運用状況、利用の度合いについて伺う。

教育長 平成19年度末における奨学金の貸付残高は、406万9,547円、貸付者は58名である。額、幅、質的なものについては、合併協議において、旧町村の取組の中で充実した方にレベルを合わせて取り組んでいる。



議員 奨学金は、町で取り組む定住対策の観点から、一定期間町内で就業した場合に返還免除を考えられないか。

教育長 奨学金は、基金を基に運用しているが、一定期間定住した場合に免除することによって次に借りたい人の原資の担保ができないことも想定される。町の一つの政策として、総合的に考えながら進めなければならぬと考えている。

友好都市、姉妹都市との児童・生徒交流事業の現状は

議員 友好都市の熊本県氷川町、姉妹都市である東京都稲城市との児童・生徒の交流事業が長年続いているが、現状について伺う。

教育長 稲城市との児童交流については、平成3年から小学校5年生の児童交流が始まり、稲城市の子供たちは、本町の夏休みが終わった後に来町され、大空町からは冬休み期間中に訪問する形で実施している。

氷川町については、中学校2年生を対象にして、お互いに夏休み期間中に訪問交流し、20名の枠の中で実施している。

先生のかかわりと授業の位置づけは

議員 友好都市、姉妹都市との児童・生徒の交流事業は、先生のかかわりはどのようになっているのか。また、授業の中ではどういう位置づけ

になっているのか。

教育長 稲城市との姉妹都市交流は、先生とPTAが実行委員会として動いている。授業と子ども達の交流の関わりについては、稲城市へ行く場合は、授業の中で稲城市について継続的に学習をしている。稲城市から迎える場合も、大空町の地域、自然、文化について学習したものを公開して交流を進めてきている。

氷川町についても、授業の中で取り入れたり、行く前に学習会を実施して情報が整った中で交流する体制にしている。

教育委員会の情報開示の考え方は

議員 本町では小学校の改築があり、平成24年度からは、新学習指導要領が実施されることになっている。これからの子ども

の環境、子どもを育てるためには、地域との協力も必要になると言われているが、教育委員会としての姿勢をどのように公表、開示していくのか。

会議録、広報の考え方について伺う。

教育委員会委員長 教育委員会会議については、個人のプライバシー部分を除いて、広く町民の皆さんに知っていただけるよう公開しており、会議録も原則公開としている。

教育長 新学習指導要領は、3月に告示になり、幼稚園は平成21年から小学校については、平成24年から本格実施することになっている。

情報の積極的な住民周知を

議員 情報の開示については、学習指導要領のこともあるので、機会あるごとに住民に知らせる方策をとってほしい。

教育長 情報の開示は、教育の変革の中で、様々な情報が保護者に伝わるよう情報の発信の仕方について研究していきたい。

数が増える部分も出てくるかと思う。そういった中で、人数の少ない方が余裕の中で学習に取組んでいけるようなこともある。研修会なども必要だと言われている。教育委員会と町長部局が検討し、余裕を持った学校生活を送れるという方法を前向きに取組んでほしい。

教育長 新しい学習指導要領では、1週間に1時間程度増えるというような状態である。そのような中で今年、小学校で専門教科の先生を置いて中学校に近い専科の形で実施している。研修については、昨年から大空町学校教育研修会を夏休みにも実施しており、本年度も研修会を予定している。予算等の拡充の必要性が出る面についても、町長部局と十分協議をしながら対応していきたいと考えている。

大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向や議事の日程のほか、議決結果や会議録なども随時更新のうえ掲載していますので、是非ご覧ください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/>からアクセス



地球温暖化対策と循環型社会について

小島 一弘 議員



地球温暖化市町村 実行計画の策定を

議員 地球温暖化対策の推進に関する法律がで
き、市町村実行計画等が
規定されているが、住民
と企業と行政の三位一体
としての市町村実行計画
が策定されているのか。

町長 本町の実行計画
については、本年1月に
策定している。平成20年
度から5ヶ年間で、町が
行っている事業活動の中
の二酸化炭素換算排出量
を6%削減することを目
標にしている。町民の皆
さんの協力を得る行動指
針の策定を進めているの

で、ご協力いただきたい
と考えている。

議員 行動指針よりも
一歩進んで、地球温暖化
対策を積極的に前向きに
進めるという発想の転換
をしなければいけないと
思う。例えば最終処分場
の埋立て処分の中には、
メタンガスが発生すると
思うが、算定根拠に入っ
ていないであろうし、自
らの事業所の事務事業の
中身を洗い出すときには、

庁舎だけ念頭にあるので
はなく、直接仕事をして
いる分野が問題になるの
で、燃料や電気代だけで
はなく基礎データを作成
してほしい。

町長 実行計画の作成
に当たっては、通常の燃
料換算ということで作っ
たが、さらに詳細につい
て分析していきたいと考
えている。具体的な数字
の積み上げのところでは
数値として出てこないか
もしれないが、実際の取
組みの事例としては、そ
ういうことも考えながら
取組んでいく必要がある
と考えている。まずは町
としての実行計画を達成
することを前提に行っ
ていきたい。



議員 (独)新エネルギー
・産業技術総合開発機
構(NEDO)では、地域

新エネルギー等導入促進
事業の公募を行っている。
この事業に積極的に応募
していくという政策的判
断が必要ではないのか。

町長 NEDOの補助
事業については、今の市
町村行動計画が具体的な
発想まで至っていないこ
とから今回手を挙げてい
ないが、今後、補助制度
を誘導していくことも含
め、情報をいち早くキャ
ッチして内部調整を進め
ていけるよう努力してい
きたい。

バイオマスタウン 構想の取組み内容は

議員 合併前の旧東藻
琴村においてバイオマス
タウン構想を制定してい
るが、総合計画の中に明記
されていない。大空町に引
き継がれている計画、構
想となっているのか何う。

町長 旧東藻琴村時代
にバイオマスタウン構想
を策定し、新町に引き継
がれている。具体的な事
業として、旧JA東藻琴
が事業主体となり、堆肥

化施設の新設整備を行っ
ている。

議員 旧JA東藻琴か
らJAオホーツク網走に
移行し、当時の主体にな
っていた協議会の改編が
必要だと思うが、どのよ
うに考えているのか。旧
東藻琴村時代の先駆的な
取組みをその地域の限定
とせず、大空町全域にわ
たって進めるよう考え
てほしい。

町長 農協は合併した
が、新しい農協と今後ど
のように取組んでいくか

公共施設の維持管理と 更新について

施設設備の老朽化対 策と計画的な更新を

議員 老朽化している
備品、機器類も含めて、
対策をどう進めるか基本
的な考え方を伺う。

町長 規模の大きな修
繕や備品の更新は、人的
被害の可能性、緊急度を
勘案して予算づけをして
いる。優先度の高いもの
から順次対応していきたい。
今後、指定管理者と

協議を進めたいと考えて
いる。

議員 バイオマスタウン構想
は、大空町に引き継がれ
ているので、大空町全域
としての取組みができる
よう考え方を踏襲してい
きたい。



また、更新について計画

臨時会の議案と質疑

第4回臨時会

～南あさひ団地公営住宅新築 工事に関する請負契約を可決～

第4回臨時町議会は、7月10日の1日間の会期で開かれ、以下の町提出案件が決まりました。

一般案件

【和解及び損害賠償額の決定】

町有施設に起因して発生した利用者事故に対する和解及び損害賠償の額(61万円)を決定

【物品の購入】

物品・数量	除雪グレーダ 1台
業者名	(株)コマツ北海道 北見支店 支店長 赤坂 一文 (北見市東相内町660番地)
購入金額	46,305,000円

【工事請負契約の締結】

工事名	南あさひ団地公営住宅新築工事
業者名	浜本山田建設(株) 代表取締役 浜本 一男 (東藻琴535番地)
購入金額	49,350,000円

質疑

森田議員 当該新築工事の中に旧住宅の解体工事は含まれているのか。別に発注する予定なのか伺う。

建設水道課長 本年度の新築工事箇所にあつては、前年度に解体工事済となっている。21年度新築工事箇所については、本年度の解体工事を予定している。

予算案件

【平成20年度一般会計補正予算(第4号)】

歳入歳出予算にそれぞれ2,607万円を追加し、総額が72億5,68

2万円となりました。

▼歳入の主なものとして
財政調整基金繰入金
△8,992万円

前年度繰越金

7,315万円

前年度老人保健特別会計繰入金返還金

3,949万円

前年度介護保険事業勘定特別会計繰入金返還金

274万円

▼歳出の主なものとして、
財政調整基金積立金

1,744万円

公共施設等整備基金積立

510万円

ごみ収集事業

144万円

【平成20年度老人保健特別会計補正予算(第1号)】

歳入歳出予算にそれぞれ4,439万円を追加し、総額が1億6,633万円となりました。

▼歳入の主なものとして、
過年度医療費負担金

4,370万円

▼歳出の主なものとして、
前年度返還金

4,439万円

【平成20年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)】

歳入歳出予算にそれぞれ70万円を追加し、総額が9,687万円となりました。

【平成20年度介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)】

歳入歳出予算にそれぞれ1,555万円を追加し、総額が5億7,477万円となりました。

▼歳入の主なものとして、
前年度繰越金

1,554万円

▼歳出の主なものとして、
前年度返還金

888万円

議会中継のお知らせ



「東藻琴総合支所ロビー」及び「老人福祉センターフロックスロビー」のテレビを通じて、議会本会議の様子をご覧にすることができますので、議会中継を是非ご覧ください。

お願い

議長及び副議長宛の案内文書については、公務等の日程調整が必要となりますので、必ず議会事務局まで「持参」か「郵送」でお届けをお願いします。

送り先 ☎099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号
大空町議会議長 宛

議会活動の状況

議会には、定期的に行われる「定例会」と必要に応じて開かれる「臨時会」があり、決められた一定の活動期間中(会期)に本会議や委員会を開いて議案等の審議を行います。大空町議会の定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開くこととなっています。

議会活動は、原則として会期中に行うとされていますが、会期外でも必要に応じて委員会等を開き様々な活動等を行っています。

●議会の開催回数と日数・付議事件(平成19年7月1日～20年6月30日)

区分	開催回数	会期日数	付議事件									
			町長提出						議会提出			
			条例	予算	決算	専決処分	その他	計	条例	意見書	その他	計
定例会	4	10	29	33	9	1	12	84	—	15	6	21
臨時会	6	6	4	9	—	8	8	29	1	1	2	4
計	10	16	33	42	9	9	20	113	1	16	8	25

●議会活動日数(重複等を除く)(平成19年7月1日～20年6月30日)

区分	本会議	委員会		意見書対応	閉会中の議員協議会	調査・視察 研修会	陳情・要望	公共団体等の 会合出席	その他	計
		会期中	閉会中							
議長	16	9	34	—	8	13	2	34	49	165
議員平均	16	13	19	—	8	12	—	4	11	83

議員研修会

7月1日、札幌市において、平成20年度北海道町村議会議員研修会(主催:北海道町村議会議長会)が開催され、15名の議員が参加しました。

当日は、朝日新聞社編集委員で京都大学法学部客員教授の坪井ゆづる氏(演題:分権改革と地方議会のこれから)、政治評論家の三宅久之氏(演題:混迷する政局と日本の進路)のお二人からそれぞれ講演が行われました。



議長コメント



大空町議会議長

後藤 幸太郎

8月は例年になく低温の続いた毎日となりましたが、町民の皆様におかれましてはますますご盛栄のことと拝察申し上げます。公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどの挨拶状を控えさせていただきます。大空町議会を代表し、紙上をもってご挨拶に代えさせていただきます。

町内の各所では既に農作物の収穫作業が本格的に始まっており、低気圧の通過により6月11日の午後1時30分頃に発生した「降ひょう」の被害に見舞われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。5月22日に行われました第3回臨時町議会は、昨年同様、東藻琴地区での移動議会として開催しました。傍聴にお越しいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。当日は、議会議員の報酬及び費用弁償条例の一部改正に関する議案を審議し、議員の期末手当の一部を6月支給分から削減することについて可決しました。平成18年4月に町民の皆様への負託をいただいた私ども18名の議員は、大空町の発展と振興のため日々努力をしております。昨今の近隣市町の状況や議会改革等の流れを踏まえ、現在、議員定数等調査特別委員会(厚海委員長ほか委員16名)によって議員定数のあり方等についての審議・検討が進められておりますので、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。最後に、町民の皆様のお祈り申し上げます。

● 議会・委員会活動レポート ●

● 総務・厚生文教・産業建設の各常任委員会、議会運営委員会や議員定数等調査・議会広報編集の各特別委員会などは閉会中も開催され、所管する事案に関する案件の協議や活動等を行っています。 ※主な内容をお知らせします。

総務常任委員会

(1) 第5回委員会(6/3)

- ・ 監査委員条例の一部改正

- ・ 過疎地域自立促進市

- ・ 町村計画の一部変更

- ・ ボッシュ(株)女満別テ

- ・ クニカルセンターテ

- ・ ストコーズ拡張計画

- ・ 企業振興促進条例の

- 一部改正

- ・ 使用料・手数料の見

- 直し

- ・ (仮称)自治基本条

- 例の策定

- ・ 地域審議会の開催状況



(2) 第6回委員会(6/17)

- ・ 女満別ゲートボール

- ・ センター利用中の事

- 故の経過等

- ・ 要望意見書

厚生文教常任委員会

(1) 第5回委員会(6/4)

- ・ 国民健康保険税条例

- の一部改正

- ・ 女満別小学校改築調

- 査設計委託業務入札

- 結果報告

- ・ B&G海洋センター指

- 定管理委託料の補正

- ・ 企業振興促進条例の

- 一部改正

- ・ 使用料・手数料の見

- 直し

- (2) 第6回委員会(6/17)

- ・ 女満別ゲートボール

- ・ センター利用中の事

- 故の経過等

- ・ 要望意見書

- 所管事務調査(7/4)

- ・ 厚生文教常任委員会が

- 所管する課等の担当職

- 員から、次の案件等につ

- いて説明を受け調査

- しました。

- ・ 降ヒヨウによる東藻

- 琴高等学校施設破損

- 状況等現地視察調査



- ・ 後期高齢者医療制度

- (長寿医療制度)改

- 正の概要

- ・ ごみ収集車の修理

- (4) 所管事務調査(7/18)

- ・ 東藻琴福寿苑の現地

- 視察調査

- ・ 旧東藻琴国保診療所

- 跡地利用計画等

- ・ 東藻琴地区児童クラ

- ブ及び子育て支援事

- 業に係る実施場所

- ・ 東藻琴及び女満別

- B&G海洋センター

- の現地視察調査

- ・ 町民・事業所のため

- の地球温暖化対策行

- 動指針

- (5) 所管事務調査(8/4)

- ・ 北見市立小泉小学校

- 及び三輪小学校の現

- 地視察調査



- 産業建設常任委員会が

- 所管する案件等につ

- いて現地視察調査を行

- いました。

- ・ 滝上公園芝桜の芝管

- 理の状況及び今後の

- 施設整備計画等(滝

- 上町)

- (2) 第4回委員会(6/3)

- ・ ボッシュ(株)女満別テ

- クニカルセンターテ

- ・ ストコーズ拡張計画

- ・ アンテナショップの

- 開設(試験運営)

- ・ 町有林の食害による

- 被害状況

- ・ 熊の出没状況

- (3) 降ひょう災害被害箇所

- 現地確認調査(6/12)

- ・ 6月11日午後以降発生

- した降ひょうによる農作

- 物等の被害箇所の現地

- 確認調査を行いました。



- (4) 第5回委員会(6/17)

- ・ 要望意見書

- (5) 第6回委員会(7/10)

- ・ 藻琴山温泉芝桜公園

- 整備

- ・ 降ヒヨウ被害状況



議員定数等調査特別委員会

- (1) 東神楽町議会への視察

- 調査(6/30)

- 議員定数の削減及び議

- 会改革への取組み状況

- 等について説明を受け、

- 意見交換を行いました。



(東神楽町役場庁舎前にて)

視察調査報告書

大空町議会議会運営委員会 委員長 勝田 鉄城

議会運営委員会は、9名にて6月23日より25日までの3日間、道南の福島町議会、せたな町議会及び北海道町村議会議長会を訪問し、視察研修してました。その結果について報告いたします。

「自分たちの町のことは、自分たちで決め実行する」地方分権の名の下に、執行機関に対する政策提言や行政の監視など、地方議会の役割はさらに重要になってきています。常に住民と対話し、住民のために活動している議会でなければ、住民からその存在を問われる議会となってしまう。

《福島町》

時と共に住民要望も変化していく中、大空町議会は住民のためにどうあるべきかを問いながら、今回、福島町議会の「開かれた議会への取組み」について研修しました。

福島町は、人口5,4

77人、世帯数2,40

9戸、町の面積は18

7・23km²、青函トンネル

出入口で千代の山、千代

の富士の名横綱を輩出し

た漁業と農業を基幹産業

とする町です。福島町議

会では、平成11年度より

様々な開かれた議会への

取組みを実施しています。

夜間議会、住民懇談会を

開催し住民周知を図るこ

とや、17年度からは議員

の評価、議会の評価をス

タートさせ、自己採点し

た評価結果を住民に広く

公表しています。議員の

評価については、全議員

が強制的に行っているも

のではなく、自主的に1

年間の活動を6項目・3

段階とし、最終任期前

には4年間の総合的な自己

評価を行っているとのこと

とでした。議会の評価に

ついては、議会の活性化

監視度、報告度等の10項

目・3段階評価と1年間

の活動を議会広報・議会

ホームページにて広く公

開して行いました。当日対

応いただいた溝部議長か

らは、福島町議会の様々

な議会改革の取組みに対

し、住民の反応はまだ周

知半ばながら好反応を得

ており、今後の議会基本

条例の制定に向けてさら

なる改革を推進するとの

お話しがありました。

福島町議会の取組みを

伺い、大空町議会におい

ても議会・委員会等の活

動をもっと住民の方々に

広く知ってもらおうと共

に、議会側も住民のお話を

聞く機会づくりが必要であ

ると感じました。



(福島町議会議事堂にて)

《せたな町》

次に、せたな町議会を訪問しました。

せたな町は、人口10,

289人、世帯数4,6

68戸、町の面積は63

8・64km²、旧北松山町、

旧大成町、旧瀬棚町の3

町が平成17年9月に合併

した漁業と農業を基幹産

業とする新しい町です。

本町と同様に市町村合併

を経験されていることか

ら、「合併後の議会運営

の取組み」について研修

しました。旧3町では、

3町正副議長会を設置し、

議会運営の慣行・慣例の

違いなど、議会全般に関

する事項の協議・調整を

進めたとのことでした。

また、常任委員会、各種

行政委員会等における旧

3町の地区別配分・割当

等については、旧3町に

平等に割当てされており、

合併後間もない各地区への

配慮が感じられました。

また、旧3町の総合支所

を通じて議会のテレビ中

継を行っているとのこと

とでした。議会改革の今後

の予定としては、近い時

期に議会基本条例の作成

を進めたいとのこととし

た。合併後の議会は、概

ねどこの市町村も運営等

に汗をかくものですが、対応いただいた奥村議長の表情にもそのような状況が見受けられました。



(せたな町役場庁舎前にて)

《北海道町村議会議長会》

3番目の訪問先として北海道町村議会議長会の勢旗事務局長より「議会の活性化について」研修を受けました。

活性化の取組事例とし

て、福島町・栗山町・白

老町を例にそれぞれ説明

を受けました。特に全国

に先駆けて制定した栗山

町議会の議会基本条例や、

議会の会期を1月から12

月までの1年間とする白

老町議会の全国初の通年

議会条例などについて解

説を交えて説明いただき

ました。また勢旗局長か

ら、「これらの事例を参

考に住民のための開かれ

た議会づくりを目指し、議会全体としてレベルを上げ期待に添えていかなければならない」「思いついた小さなことから取り組む姿勢が肝要である」との指摘等がありました。さらに、地方議会に関わる地方自治法の一部改正の説明と議員定数の推移について、市町村合併等の進展により議員定数の削減と初当選議員数が減少している現状報告もいただきました。

《おわりに》

大空町議会も今回の視察研修を参考に、地方議会の果たす役割を改めて認識し、一声一声を拾い集める地道な活動を通じて、活力あふれる議会運営と住民の議会・議員に対する期待に添えていきたいと考えています。



(町村議会議長会事務局にて)

要 望 意 見 書

①国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める要望意見書

1. 森林吸収源対策を着実に推進するため、環境税等税制上の措置を含め安定的な財源を確保するとともに、林業・木材産業の振興施策の推進と森林所有者の負担軽減措置による森林経営意欲の創出する施策を講じること。
2. 緑の雇用対策等森林・林業の担い手対策の拡充、施策の集約化、道路網の整備等による効率的・安定的な木材の供給体制の確保、さらには、木材のバイオマス利用の促進等により間伐材を含む地域材の需要拡大対策の推進による地域
- 林業・木材産業の振興を図ること。
3. 水源林造成事業を計画的に推進するための組織体制の確保を図ること。
4. 国有林野事業については、国民共有の財産である国有林を適正に管理するとともに、公益的機能の一層の発揮を図るため、国による管理運営体制の堅持及び管理運営を通じた地域における森林・林業の担い手の育成と地域活性化を図る施策を講じること。

(提出先) 衆議院議長 河野 洋平 参議院議長 江田 五月 内閣総理大臣 福田 康夫 財務大臣 額賀福志郎
農林水産大臣 若林 正俊 経済産業大臣 甘利 明 環境大臣 鴨下 一郎 林野庁長官 辻 健治

②北海道開発の直轄整備体制堅持に関する要望意見書

1. 北海道開発に関係する国の機関のあり方については、これまでの北海道開発の経緯及び北海道の特殊性並びに北海道において国が果たすべき役割等を十分に踏まえた検討をすること。
2. 道路整備等の社会生活基盤の整備に関する直轄事業は、受益が広域に及ぶこと、全国的なネットワークの中核を担うこと、大規模な投資や高度な技術を要すること等により、全国的な見地から実施することが必要な基礎的または広域的な事業に限定されているため、引き続き国が責任をもって実施すること。
3. 一級河川の直轄管理区間は、国土保全上または国民経済上、特に重要度の高い区間が指定されており、河川の氾濫による影響及び河川整備の歴史的経緯等を踏まえ、引き続き国が責任をもって実施すること。
4. 食料の安定供給の確保や国土保全等の多面的機能の発揮という国の責務を果たすため、全国的な見地から直轄による農業農村整備を着実に推進することが必要であり、引き続き国が責任をもって実施すること。
5. 水産物の安定供給の確保と水産業の健全な発展を図るといふ国の責務を果たすため、全国的な見地から直轄による水産基盤整備を着実に推進することが必要であり、引き続き国が責任をもって実施すること。

(提出先) 衆議院議長 河野 洋平 参議院議長 江田 五月 内閣総理大臣 福田 康夫 総務大臣 増田 寛也
財務大臣 額賀福志郎 農林水産大臣 若林 正俊 国土交通大臣 冬柴 鐵三

③平成21年度国家予算編成における義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率2分の1復元教育予算の確保・拡充を求める要望意見書

1. 教育の自治体格差を生じさせないために、国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率2分の1に復元をすること。また、交付金化や一般財源化を行わないこと。
2. 憲法の理念である義務教育費無償を実現するため、保護者負担がゼロとなるよう、また、学校施設整備費、就学援助・奨学金、図書費など国の責任において教育予算の確保・拡充をすること。
3. 30人以下学級を早期に実現すること。また、教職員定数改善計画の実現と学校教育法第37条第3項を削除し、学校教育法に規定する教職員の全校配置とあわせてゆとりのある教職員配置を実現すること。

(提出先) 内閣総理大臣 福田 康夫 総務大臣 増田 寛也 財務大臣 額賀福志郎 文部科学大臣 渡海紀三朗

編集後記

4年に1度のスポーツの祭典「北京オリンピック」が8月8日から24日までの17日間に亘り開催され、熱戦が繰り広げられました。一日中テレビの前に釘付けとなって声援を送られた方も多かったのではないのでしょうか。

水泳平泳ぎの北島康介選手の2大会連続2冠達成やソフトボールの上野由岐子選手の連投に継ぐ連投の末、激戦を制した悲願の金メダルなど、多くの選手の活躍は子供たちに夢と希望と感動を与え、殺伐とした暗いニュース・話題が多かった国内に明るい光を差し込んでくれました。メダルに届いた選手も届かなかった選手も今後の更なる活躍を期待するところです。本当にお疲れ様でした。

地方自治体の役割や活動が年々多様化し、事務事業規模も拡大している中、夕張市の財政破綻を契機として、地方自治体の財政の早期是正措置や特別会計を含めた指標の必要性などの問題点を改善し、住民の視点に立った財政状況等をチェックする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に制定されました。この法律には、地方自治体の財政状況を判断するための4つの指標が設定され、19年度決算からその結果の公表が義務付けられたことにより、これからの地方自治体は今まで以上に結果責任や説明責任が求められることとなりました。

議会が果たす役割や責任がますます重要になっていくことを踏まえ、町財政の一層の健全化へ向け、今後もチェック強化への取組みに努めなければならぬと考えています。

議会日誌

平成20年5月25日～8月26日

- 5月25日** 平成20年女満別消防団消防演習
- 27日** 産業建設常任委員会第1回所管事務調査
(滝上町)
- 29日** 北海道町村議会議長会議会実態調査職員説明会
(札幌市)
- 6月3日** 第5回総務常任委員会
第4回産業建設常任委員会
- 4日** 第3回議員協議会
第5回厚生文教常任委員会
交通安全防犯推進委員会
- 5日** NPO法人めまんべつ観光協会第4期通常総会
第59回北海道町村議会議長会定期総会
(札幌市)
- 6日** 第29回札幌地区女満別会総会(札幌市)
- 7日** 第37回旭川東藻琴会(旭川市)
- 8日** 阿寒国立公園「藻琴山」夏山開き安全祈願祭
- 9日** 女満別ドリーム苑増築施設竣工式
斜網ブロック議長・副議長会議(大空町)
- 11日** 第4回議会運営委員会
- 16日** 女満別総合家畜品評会
- 17日～18日** 平成20年第2回定例会
第6回総務常任委員会
第6回厚生文教常任委員会
第5回産業建設常任委員会
第4回議員協議会
- 25日** 支庁制度改革に関する緊急集会(札幌市)
- 29日** 平成20年東藻琴消防団消防演習
- 30日** 議員定数等調査特別委員会道内行政視察調査
(東神楽町)
- 7月1日** 北海道町村議会議長会議員研修会(札幌市)
- 4日** 厚生文教常任委員会第1回所管事務調査
- 5日** 東藻琴地区殉公者慰霊祭
- 8日** 第6回議会運営委員会
- 10日** 平成20年第4回臨時会
第5回議員協議会

- 第6回産業建設常任委員会
第36回交通安全大会・第58回社会を明るくする運動大会
- 11日** 大空町総合管理組合通常総会
- 14日** 置戸町議会議務常任委員会視察調査来町
- 15日** 熊本県氷川町議会一行視察調査来町
- 18日** 厚生文教常任委員会第2回所管事務調査
- 24日** 第6回議員協議会
北網ブロック町議会議務局長会議(清里町)
- 26日** めまんべつ観光夏まつり開会式
- 29日～30日** 網走支庁管内総合開発期成会夏季中央要望(東京都)
- 8月4日** 第7回議会運営委員会
厚生文教常任委員会第3回所管事務調査
- 5日** 北海道町村議会議長会職員研修会(札幌市)
- 11日** 網走支庁管内町村議会議務局長研修会
(遠軽町)
- 12日** 第4回議会広報編集特別委員会
- 15日** 女満別地区戦没者追悼平和祈念祭
- 19日** 北海道町村議会議長会議会広報編集者会議
(札幌市)
- 21日** 全道農業危機突破総決起大会(札幌市)
- 22日** 第5回議会広報編集特別委員会
- 26日** 網走支庁管内町村議会議長会職員研修会
(湧別町)

議会の傍聴はお気軽に!

定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。また、臨時会は必要に応じて随時開かれますので、皆様もお気軽に傍聴においでください。詳しくは、議会議務局へお問い合わせください。

● 9月定例会は9月24日から開かれる予定です。

たまや菓子店

大空町女満別西1条4丁目 TEL(0152)74-2613

当店の主な商品

- シュークリーム(3種類) …… 110円～
- ケーキ(25種類) …… 170円～
- 串団子(3種類) …… 各 74円
- 女満別の詩／●湖畔の里 …… 各105円
- バースデーケーキ(15cm～) …… 要予約 2,310円～

※バースデーケーキご予約のお客様には、「あおぞらスタンプ3倍(通年)」差し上げております。

●和・洋菓子各種取り揃えて皆様のご来店をお待ちしております。

営業時間 9:00～19:00 定休日 毎週日曜日

お土産、法事、祝事などのお祝い物のご予約を承ります。定休日や営業時間外でもお急ぎの場合にはお問い合わせください。

※当店は全て消費税込みの価格です。

